

令和 5 年度 事業報告書

I. 社会福祉事業

1.	特別養護老人ホーム ひまわり荘 ひまわり荘短期入所介護事業所 ひまわり荘通所介護事業所 太陽の里いわき居宅介護支援事業所	…	1	～	17
2.	ケアハウス 日之出荘	…	18	～	23
3.	太陽の里いわき訪問介護事業所	…	24	～	25
4.	介護老人保健施設 二ツ箭荘 居宅介護支援事業所 ふたつや	…	26	～	33
5.	児童養護施設 いわき育英舎	…	34	～	40
6.	本部	…	41		

II. 公益事業

1.	医療センター 片寄診療所	…	42	～	47
----	--------------	---	----	---	----

令和5年度 特別養護老人ホームひまわり荘事業報告書

介護保険法に従い、利用者が有する能力に応じて可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援し、利用者に自立支援のための最適なサービスを多職種協働で総合的に立案し提供して参りました。

また、新型コロナウイルス感染症の位置づけが令和5年5月8日に「5類感染症」に変更されましたが、高齢者施設においては施設内において感染が拡がらないよう感染対策の基本を継続しました。

1. 定員の確保

新型コロナウイルス感染状況等を勘案し、新規入所者においては入所前にPCR検査を実施しました。また、行政からの措置入所の要請につきましては、すみやかに入所に繋げております。施設内での新型コロナウイルス感染者発生に伴い入所者が複数名入院した事や、逝去後、終息するまで新規入所者を受け入れ中止にした事で空床が発生しました。

短期入所生活介護事業所においても新型コロナウイルス感染者発生に伴う一時受け入れ休止をした事もあり利用率が低下しました。

2. 職員の士気高揚

職場内研修は、内部研修、外部研修共に定期的に実施し、職員間で情報共有することで各自技術の修得、知識の向上を図りスキルアップに努めました。

3. 事務処理の充実

介護報酬請求等の事務処理について、遅延や漏れなどはなく正確に請求をすることができました。

4. 処遇の充実

利用者の意向と各専門職の意見を反映した施設サービス計画を作成し、計画書に沿った援助の実施に努めました。また、身体状況等の変化が見られた際には、多職種協働で検討を行う事で必要な援助が速やかに行えるように計画書の見直しを随時行い、適切な援助が行なえるように努めました。

行事については、状況を見ながら季節毎の催し物を再開し、利用者と共に楽しむ事が出来ました。また、荘外の散歩やお茶会等を実施する機会を設け気分転換を図りました。

利用者の身体状況の変化や事故への対応等細やかな情報も家族へ伝える事で、信頼関係を構築出来るよう取り組む事が出来ました。

居室担当者が生活環境を整える等、利用者にとって気持ちよく過ごしていただけるように整理整頓を行い、年2回の衣替えも相談員と連携をとりながらできました。

職員の身だしなみや言葉遣い、態度等に留意し、介護職員として利用者に安心感、信頼感を持っていただけるように努めました。また、業務改善委員会が中心となり現場の課題や環境等見直しを行いサービスの質の向上や業務負担軽減に取り組みました。

面会については新型コロナウイルス感染症の5類変更に伴い、時間や人数等にまだ制限がありますが、ロビーにて対面で実施し、入所者、ご家族共々元気そうな姿を確認でき不安を解消することが出来ました。

5. 看取り介護について

ターミナルケアの充実を図り、多職種連携のもとご家族の意向を尊重し対応する事ができました。終末期を向かえた利用者の家族に対しては、居室内や静養室にて対面で面会していただき、ご家族より感謝の言葉が聞かれました。看取り加算についてもほぼ100%算定する事ができました。

6. 事故防止・苦情対策の充実

怪我などの事故が発生した際には、迅速に対応しました。また、事後の対策では、事故報告書の作成と事故防止対策委員会を速やかに開催し事故原因等を分析し、再発

防止に努め職員へ周知徹底を図りました。

事故の発生時には、利用者や家族に不安を与えないように誠意をもって対応致しました。

7. その他

新型コロナウイルス感染症防止対策の継続として、密を避けるための休憩室の時間差利用、職員体調管理の為に1日2回の検温、手指消毒、不織布マスクの徹底、送迎車内の消毒等に取り組みました。

職員、利用者の新型コロナウイルス感染者発生についても保健所と連携し感染の封じ込めに全力で対処し短期間で収束することができました。

また、ICT活用により記録の効率化を図り、介護業務の負担軽減、サービスの質の向上に取り組み、記録が一元化する事で多職種での情報共有がスムーズにできました。

利用状況（特別養護老人ホームひまわり荘）

令和5年度	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	前年度	前年比
入所者数	57.2	57.3	56.0	56.9	57.9	57.3	57.7	58.0	54.2	54.0	57.4	57.8	56.8	57.4	△0.6
稼働率(%)	104.0	104.3	101.8	103.5	105.4	104.3	104.9	105.5	98.7	98.2	104.5	105.2	103.3	104.4	△1.1
平均介護度	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	0
入所数	1	0	0	1	1	2	1	1	0	7	2	2	18	26	△8
退所数	0	2	0	0	0	3	1	0	6	2	2	1	17	26	△9
入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1	7	6	1
延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	39	8	12	8	67	53	14

利用状況（ひまわり荘短期入所生活介護事業所）

令和5年度	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	前年度	前年比
支援1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	57	△53
支援2	0	2	5	9	13	10	9	5	2	2	1	0	58	13	45
要介護1	19	31	29	30	25	34	12	0	0	4	5	9	198	447	△249
要介護2	46	44	31	29	24	35	50	33	10	10	40	53	405	304	101
要介護3	68	94	35	129	124	132	167	197	116	115	154	160	1551	958	593
要介護4	22	25	24	52	45	59	61	62	6	47	60	66	529	1418	△889
要介護5	34	35	34	5	11	4	8	6	0	6	5	5	151	101	50
平均介護度	3.0	2.9	3.0	2.8	2.8	2.8	2.9	3.1	2.9	3.2	3.1	3.0	3.0	3.1	△0.1
延人数	193	231	218	254	242	274	305	303	134	184	265	293	2896	3298	△402
平均利用者数	6.4	7.5	7.3	8.2	7.8	9.1	9.8	10.1	4.3	5.9	9.1	9.5	7.9	9.0	△1.1
利用率(%)	42.9	49.7	48.4	54.6	52.0	60.9	65.6	67.3	28.8	39.6	60.9	63.0	52.8	60.0	△7.2

令和5年度 ひまわり荘行事実績

実施日	行事名	内容	場所	参加人数
4月15日	荘内お花見	施設の敷地内にてお花見散策	敷地内	15名
7月2日	七夕飾り	願い事を紙に書いて笹の葉へ飾る	天狗広場	20名
9月15日	敬老会	職員による出し物	天狗広場	40名
11月22日	お茶会	おやつとお茶を楽しむ	食堂	20名
3月15日	お楽しみ会	抽選会、お茶会	食堂	28名

* 令和5年12月3日～令和6年1月15日まで施設内コロナ感染蔓延の為、予定していた行事が中止となる。

令和5年度 内部研修実績表 (ひまわり荘)

実施日		参加者数	内 容
5月19日	資料配布		<ol style="list-style-type: none"> 1. リスクマネジメントについて 2. おむつの当て方について 3. 身体拘束廃止について
7月21日	資料配布		<ol style="list-style-type: none"> 1. 食中毒について
9月29日	18:00~19:00	24名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者虐待防止の構築について (外部研修) 2. 虐待関係について (外部研修) 3. 日常生活自立支援について (外部研修) 4. 法令巡視について
11月27日	18:00~19:00	24名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症になっても生活しやすい環境作り (外部研修) 2. 食べる事を支援する為に必要な事 (外部研修) 3. クレーム対応について (外部研修) 4. 褥瘡、感染症について 5. 看取り介護について
1月	施設内コロナウイルス蔓延にて中止 資料配布		<ol style="list-style-type: none"> 1. 医務担当職員研修 (外部研修) 2. 不適切なケアについて (身体拘束防止) 3. 高齢者虐待防止について 4. 看取り介護
3月10日	18:00~19:00	28名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事故防止について 2. チームケアについて (外部研修) 3. 次年度委員会の年間計画

令和5年度 外部研修実績表（ひまわり荘）

実施日	職種	参加者	内 容	会 場
5月30日（火）	事務	志賀 昌子	福島県老人福祉施設協議会 第1回広報委員会	福島県総合社会福祉センター
8月1日（火） ～10月16日 （月）通信教育 8～10月、スク ーリング3日間	事務	鈴木 かおり	社会福祉法人会計実務講座（初級コース）	中央福祉学院 ロフォス湘南
8月23日（水）	介護員	山崎剛太郎	高齢者虐待防止研修	いわき市文化センター
9月1日（金）	介護員	猪狩 善徳	利用者の自立を促す誘導方法 日常生活支援	福島県文化センター
9月4日（月）	介護員	三浦 美雪	食えることを支援するために必要なこと	ビッグパレットふくしま
9月13日（水）	介護員	上遠野 智史	高齢者虐待防止に関する研修	福島県文化センター
9月14日（木）	事務長	佐藤 夕起子	協定書支援内容検討会研修	ビッグパレットふくしま
10月11日（水）	介護員	中川 翼	事例で学ぶクレーム、苦情解決	福島県男女共生センター
10月18日（水）	介護員	渡辺 歩美	令和5年度認知症介護基礎研修	郡山ユラックス熱海
10月18日（水）	事務	志賀 昌子	福島県老人福祉施設協議会 第2回広報委員会	福島県総合社会福祉センター
11月9日（木）	主任看護師	遠藤 清江	福島県老人福祉施設協議会 医務担当職員研修	福島県青少年会館

12月5日～6日、 19日～20日	介護員	長沢 清江	令和5年度認知症介護実践者研修	オンライン
12月6日～7日	主任看護師	遠藤 清江	看護実務者研修	福島県看護会館みらい
12月20日、1月 23日～24日	介護支援専門員	伊藤 真奈美	介護支援専門員更新研修	オンライン
3月2日(土)	事務長 介護員	佐藤 夕起子 蛭田 裕也	仕事が楽しくなるチームづくり	いわき市労働福祉会館

令和5年度 ひまわり荘通所介護事業所事業報告書

介護保険法に従い、要介護状態の心身の特性を踏まえ、利用者が可能な限りその居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、さらに社会的孤立感の解消および心身機能の維持並びにその家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために必要な日常生活上のケア及び機能訓練等の介護、その他の必要な援助を行いました。休日の振替利用の声掛けも継続的、積極的に行い家族とのコミュニケーションを図ることを優先としました。また、5類に変更になったとはいえ新型コロナウイルス感染症に対する予防やまん延防止など感染対策を継続しつつ不安や疑問を減らすことで安心して通っていただけるようにしました。

1. 定員の確保

居宅介護支援事業所への訪問は、継続して行ってきました。居宅介護支援事業所の登録数も少なかったこともあり新規利用者の獲得は思うようにいきませんでした。その中でも、利用者への祝日の振替利用や短期入所利用等で定員の空きが予め分かる場合の追加利用の声掛けを徹底して行ないました。また、担当ケアマネージャーへ定期的に訪問や電話などで空き情報をお知らせすることで情報の共有を図りました。さらに、利用者が施設への入所になったり、入院となってしまった利用者の居宅介護支援事業所には、新たに紹介していただけるように連絡をとったり関係性が切れないうように対応しました。新型コロナウイルス感染症による感染予防の対応、感染予防のための環境整備を職員一丸で取り組み、利用者、家族に説明をする事で安心して通所を利用していただけるよう取り組みました。

2. 職員の士気高揚について

施設研修においては、5類に変更後も看護師を中心とし感染対策に努めました。令和6年4月からの介護報酬改定情報を全職員で共有することができました。ホームページも開設され、事業所の情報発信を始めました。

3. 事務処理

ICTの活用により記録の効率化や介護業務の負担軽減に取り組み、全職員での共有ができるようになったことで業務改善においても効率化が図れました。

4. 地域交流

今年度も、新型コロナウイルス感染症のまん延防止により外部からのボランティア等の受入はできませんでした。

5. 利用者処遇

利用者の方のニーズ、思いを知ることで可能な限り取り入れ通所介護計画書を作成し、介護サービス提供を実践しました。5類に変更後も感染対策を徹底することで快適に通所を利用していただけました。また、担当ケアマネージャーとの情報を共有することで、利用者の身体的・精神的状態の把握に努め、その中でも利用者のできることを維持できるように個別機能訓練や集団レクを充実させ生活に張りをもっていたけるように支援しました。

また、見守りが必要な利用者は座席の位置などを工夫して、安全性を優先しました。

6. 生きがい対策

季節に合わせた各種行事や娯楽活動の実施は感染対策のもとできる範囲で対応しました。多少なりとも制限はありましたが、利用者と一緒にいろいろなことを共有できたことは、笑顔が増え、心身の活性化の支援に繋がりました。個別機能訓練でも細やかな対応をする事で利用者から感謝の言葉も聞かれ、意欲の向上に繋がったと思います。また、集団レクでは、手先を使ったり、身体を動かしたりなど内容も多種にわたって偏ることなく提供できました。

また、年2回の火災避難誘導訓練では、「大事なことだね」と話され一生懸命参加されておりました。

7. 各種業務のサービス向上

お迎え時に、検温をすることで体調管理をして状態把握をしました。引き続き、家族、各居宅介護支援事業所と連携を図ることで新型コロナウイルス感染症に対する感染対策をとりました。見送りの時に利用状況を報告する事で、本人の状態をご家族と共有し体調不良や異常の早期発見に努めました。入浴サービスは、利用者一人一人の残存機能の活用を目的に自分で出来る事は行って頂き、また必要に応じて介助することで日常生活動作の維持、向上に繋げました。

食事サービスは季節を感じられるような献立で、利用者にとって美味しく召し上がってもらえるような内容になるように、月1回行われる給食委員会において見直し等が行われ、より良い食事提供ができるように対応しました。

休息については、密にならないように配置等を工夫するなどして利用者にくつろいで休んでいただきました。

レクリエーションは、感染対策をしながら内容を見直し対応し、その中でも生きがいや心の健康に繋がるように工夫しました。気分転換の一環として少人数での散歩なども取り入れました。

機能訓練（リハビリテーション）は、利用者の方の身体状況や生活環境に必要な機能訓練を実施し、個別に対応することで感染予防に努めました。充実したりハビリ提供を心掛け、身体機能の維持向上を図りました。日常における相談等、看護師が中心となって対応をしました。感染症の予防等に重点を置き、特養と連携を図りながら安心して利用できるより良いサービスの提供に努めました。

8. 環境整備

事業所としては、検温、手指のアルコール消毒、マスクの着用、食事環境を整える観点から衝立の設置、定期的な換気、利用者同士の距離感などに気を配り安全性を確保しながら感染対策を徹底することで、利用者・家族にも安心してサービスを利用していただきました。また、利用が終わったデイルームをオゾン発生器で室内を消毒し感染対策に配慮した環境を作りました。

9. 家族との交流

送迎時の対応で家族との連携を図りました。また、どんな些細なことでも家族の不安軽減のために電話対応し安心してサービスを利用してもらえるように努めました。

10. 秘密保持

契約時に説明をし、個人情報使用同意書を取り交わし、利用者のニーズに応えるべく情報交換を行いサービスの質の向上に努めました。サービスを提供するにあたり知り得た情報は第三者に漏らすことなく守秘義務を全職員に徹底しました。

11. 緊急時対応

緊急時の対応は、速やかに対応できるように利用者ごとにご家族や主治医の電話連絡先を書類に記載し定期的に見直すことでその情報を職員全体で共有し、迅速かつ適切に対応できるように工夫をして取り組みました。

12. 苦情相談の対応

利用者の相談ごとや悩み事、苦情に耳を傾け、利用者の方々に適切かつ丁寧に対応し精神の安定が図れるように努めました。業務改善委員会の活用でサービスの質の向上、業務の見直し、最適化、要望等の対応も迅速かつ適切にすることで通所サービスを安心して利用できる環境を整えました。

13. その他

ウォーターベットやエアーマッサージ器ドクターメドマー、電動サイクルマシンエスカルゴのリラクゼーションや運動機器は、利用者の方々から大変好評を頂いており、機器の清潔に努め利用者の心身の活性化を図れるように有効な備品として活用しました。

ホームページを開設し事業所での過ごし方等を見もらうことで楽しく、安全にまた、その中でも、職員体調管理の1日2回の検温、マスク着用はもちろんのこと密を避けるための休憩室の時間差利用など係わる利用者の安全を考え対応しました。

利用状況（ひまわり荘通所介護事業所）

<利用者>	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	前年度	前年比
支援1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	10	126	△116
支援2	12	11	12	23	20	13	14	16	8	5	0	0	134	106	28
要介護1	65	59	62	82	60	70	57	59	57	58	52	58	739	841	△102
要介護2	144	149	145	118	106	144	122	139	172	135	133	158	1,665	1,755	△90
要介護3	85	89	107	119	79	74	92	85	104	93	85	106	1,118	1,000	118
要介護4	74	76	79	77	49	79	78	70	75	62	97	119	935	924	11
要介護5	27	29	30	28	21	17	19	15	21	15	15	20	257	284	△27
延人数計	410	413	435	447	335	397	382	384	437	368	386	464	4,858	5,036	△178
利用者数(注1)	17.1	17.2	16.7	17.9	15.2	16.5	15.3	16.0	17.5	16.7	16.8	18.6	16.8	17.9	△1.1
利用率(%)	57.5	57.9	56.3	60.1	43.6	55.7	51.5	54.0	56.5	49.6	55.9	62.1	58.0	60.1	△2.1
新規利用者数	0	3	2	5	1	3	1	0	3	0	3	3	24	25	△1
利用中止者数	0	2	1	0	2	4	4	2	2	0	0	3	20	24	△4

注1:当該月の1日当たりの平均利用者数

令和5年度 ひまわり荘通所介護事業所 行事实績

実施日	行事名	内 容	行 先
4月10日～4月15日 4月3日～4月8日	誕生会(4月) 敷地内散策(お花見)	手作りケーキをいただきながらのティータイム 施設敷地内にある桜を見に行く	デイルーム 施設敷地内
5月15日～5月20日	誕生会(5月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
6月12日～6月17日	誕生会(6月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
7月10日～7月15日	誕生会(7月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
8月1日～8月5日 8月21日～8月26日	通所の夏祭り 誕生会(8月)	うちわゲームやいわき踊り 手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム デイルーム
9月11日～9月16日	誕生会(9月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
10月16日～10月21日 10月2日～10月7日	誕生会(10月) 秋の運動会	手作りケーキをいただきながらのティータイム 玉入れ・借り物競争・ロープリレーの競技でのミニ運動会	デイルーム デイルーム
11月13日～11月18日	誕生会(11月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
12月11日～12月16日 12月18日～12月23日	誕生会(12月) クリスマス会	手作りケーキをいただきながらのティータイム ビンゴ大会を行いました	デイルーム デイルーム
1月15日～1月20日	誕生会(1月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
2月13日～2月17日	誕生会(2月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
3月11日～3月16日	誕生会(3月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム

※ 新型コロナウイルス感染症対策に留意し適切に実施しました。

令和5年度 外部研修実績表（ひまわり荘通所介護事業所）

実施日	職種	参加者	内容	会場
令和5年7月19日（水）	介護副主任	猪狩 昌枝	B C P作成研修会	オンライン
令和5年9月20日（水）	介護副主任	猪狩 昌枝	B C P作成研修「感染症・基礎編」	オンライン
令和6年3月 2日（土）	介護副主任	猪狩 昌枝	「仕事が楽しくなるチームづくり」	いわき市労働福祉会館

令和5年度 内部研修実績表（ひまわり荘通所介護事業所）

実施日	参加者数	内容
令和5年4月20日(木) 17:00~17:30	7名	交通事故防止・認知症ケアについて
5月9日(火) 17:00~17:30	7名	新型コロナ感染症5類感染症移行の対応について
6月20日(火) 17:00~17:30	6名	食中毒防止・プライバシー保護について
7月7日(金) 18:00~19:00	8名	オンライン研修報告
8月12日(土) 17:00~17:30	8名	熱中症予防について
9月20日(水) 18:00~19:00	8名	オンライン研修報告（業務継続計画・法令遵守（コンプライアンス））
10月13日(金) 17:00~17:30	6名	インフルエンザと新型コロナウイルス感染症について
11月8日(水) 17:00~17:30	7名	急変時の対応について・業務の内容変更について
12月7日(木) 17:00~17:30	6名	身体拘束と虐待について①
令和6年1月22日(月) 18:00~19:00	7名	事故対応と再発防止・緊急時の対応について
2月8日(木) 17:00~17:30	7名	身体拘束と虐待について②
3月22日(金) 17:00~17:30	7名	プライバシーの保護・令和6年度の業務変更について

※当日参加できなかった職員へは、副主任からの説明と資料を渡す。

令和5年度 太陽の里いわき居宅介護支援事業所事業報告書

介護保険法に従い、利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮し、利用者の選択に基づき、適切なサービスを総合的かつ効率的に提供されるように支援し、利用者の意思及び人格を尊重した中立公正に基づいたケアプランを策定することができました。また、今年度も新型コロナウイルス感染症のため通常の研修というものが少なく、オンラインによる研修に参加することで介護支援専門員としての質の向上に努めました。

1. 居宅サービス計画数の確保

事業所の標準員数は、入院や入所、死亡により解約者数はありましたが、地域包括支援センター等への働きかけや他居宅支援事業所との連携により新規利用者の確保に繋がりました。サービス計画書の作成後は、利用者の在宅での状況やサービス利用状況の経過観察を重要視し、相談等を受けることで、速やかにサービス計画書の変更ができるように連携し、利用者の意向や希望を勘案したサービス計画書の作成にあたりました。

2. 介護支援専門員としての質の向上

介護支援専門員として必要な知識や技能の習得、ICT機器の活用、さらにオンラインによる研修へ参加するなどして、利用者の意思決定支援、相談支援、社会資源の把握など、よりよいものになるよう取り組みました。さらに、計画的に定例会議等を実施し事例検討会に参加しました。

3. 人とのネットワークの構築

サービス担当者会議などを含めて各サービス提供事業所との情報交換を行う事により、情報の共有化や連携を深め、利用者一人一人へのチームアプローチがスムーズにできるように取り組みました。

4. 秘密保持

ケアマネジメントを行う上で様々な関係者と利用者等の情報を共有するにあつ

ては、事前に利用者や家族へ説明を行い理解していただき情報開示の承諾を文書で取り交わすことにより円滑に実施することができました。

5. 心のこもったケアプランの作成

利用者やその家族との信頼関係のもと、利用者の意思を尊重しニーズや希望を的確に把握しサービス計画書を作成、提案することができました。また、遂行状況もモニタリングをして、フォローアップに活かし利用者の意思を尊重し必要なサービス計画書となるように取り組みました。

6. コミュニケーション能力のフル活用

利用者が求めていること・不安なことの状況変化に対応し介護支援専門員としてコミュニケーションの基本技法を活用しニーズや問題点、困っている事などを把握し、利用者の持っている能力を引き出せるように取り組み、各関係事業所等との連絡調整においても感染症等に注意しながら適切に情報交換を行いました。

7. 心のこもった相談・苦情受付

利用者、家族の気持ちに寄り添いながら、その方らしい生活が送れるよう配慮し取り組みました。

利用者や家族には、新型コロナウイルスやその他の感染症に対する状況の変化の中で、不安軽減が図れるように説明をしました。

8. 管理資料の記録及び保管

利用者及びその家族の個人情報、相談・苦情内容、サービス計画書、給付管理票など各種記録は、正確に記録し、基準に基づき保存、保管いたしました。

9. その他

特定事業所加算Ⅲを算定し、地域包括支援センターとの連携を図り24時間連絡体制を確保し必要に応じて利用者の相談に対応しました。

緊急時でも行政と連携を図りながら利用者への対応ができるように業務継続計画書を作成しました。

利用状況（太陽の里いわき居宅介護支援事業所）

〈利用者〉	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	前年度	前年比
支援1	6	6	7	7	6	6	4	5	5	5	5	5	67	67	0
支援2	17	16	20	20	19	17	17	17	17	16	16	17	209	198	11
要介護1	34	31	32	34	37	38	33	36	37	37	33	32	414	388	26
要介護2	36	35	35	34	34	33	35	37	38	41	44	44	446	423	23
要介護3	15	18	20	19	21	20	25	23	22	20	18	19	240	214	26
要介護4	9	10	8	10	12	12	11	10	10	11	13	12	128	123	5
要介護5	4	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	41	49	△8
サービス登録者数	121	121	126	128	132	129	128	131	132	133	132	132	1,545	1,462	83
サービス未利用数	9	7	9	8	11	7	6	8	3	8	7	5	88	51	37
サービス利用者数	112	114	117	120	121	122	122	123	129	125	125	127	1,457	1,411	46
新規契約数	7	0	9	2	7	2	1	6	1	1	3	2	41	28	13
契約解約数	3	0	4	0	3	5	2	3	0	0	4	2	26	37	△11
男	36	36	41	42	41	40	40	38	38	38	37	37	464	400	64
女	85	85	85	86	91	89	88	93	94	95	95	95	1,081	1,062	19

令和5年度 内部研修実績表 (太陽の里いわき居宅介護支援事業所)

実施日	参加者数	内 容
令和5年5月31日(水)	3名	事業所における業務継続作成について
6月27日(火)	3名	高齢者虐待防止に向けた基本的な視点
7月27日(木)	3名	介護現場におけるハラスメント対策マニュアル
9月28日(木)	3名	認知症高齢者の理解とケアで大切なこと
10月26日(木)	3名	介護職員のための感染対策マニュアル
11月10日(金)	3名	目の不自由な方への支援方法
令和6年2月22日(木)	3名	転倒経験から外出に不安を感じるようになった高齢者への支援

令和5年度 外部研修実績表（太陽の里いわき居宅介護支援事業所）

実施日	参加者	内 容	会 場
令和5年5月17日（水）	戸田 恵美子 佐藤 美紀 西郡 みゆき	令和5年度第1回平地区介護支援専門員交流会 「精神特化型訪問看護について」	オンライン（ZOOM）
6月12日（月）	戸田 恵美子 佐藤 美紀 西郡 みゆき	他事業所合同 介護支援専門員事例検討会	幸寿苑
7月17日（月）～7月20日（木）	戸田 恵美子	令和5年度 主任介護支援専門員更新研修	オンライン（ZOOM）
7月19日（水）	佐藤 美紀 西郡 みゆき	令和5年度第2回平地区介護支援専門員交流会 「新型コロナウイルス感染症5類による対応について」	オンライン（ZOOM）
7月28日（水）	戸田 恵美子 佐藤 美紀	带状疱疹について学ぶ	オンライン（ZOOM）
9月20日（水）	戸田 恵美子 佐藤 美紀 西郡 みゆき	令和5年度第3回平地区介護支援専門員交流会 「高齢者虐待の対応～事例を用いて」	中央台公民館 大会議室
11月22日（水）	戸田 恵美子 西郡 みゆき	令和5年度第4回平地区介護支援専門員交流会 「身寄りのない方の金銭管理・判断力が低下した高齢者の事例から」	中央台公民館 大集合室
令和6年1月24日（水）	戸田 恵美子 佐藤 美紀 西郡 みゆき	結局のところ、相談支援専門員の仕事って難しいの？儲かるの？ 大変なの？ 「生活援助サービスについて」	オンライン（ZOOM）
令和6年3月21日（木）	戸田 恵美子 佐藤 美紀 西郡 みゆき	ケアプランデータ連携システム 令和6年度介護報酬改定の動向	オンライン（ZOOM）

令和5年度 ケアハウス日之出荘事業報告書

老人福祉法及び介護保険法に従い業務内容の充実に努め、入居者が健やかで安全に安心して生活できる環境づくりに努め、要介護認定を受けている入居者の皆様には、本人の意向などを十分に配慮した特定施設サービス計画書を作成し、自立した生活が送れるよう支援して参りました。

入居者の高齢化に伴い、ADLの低下や認知症の進行、医療面でのリスク管理にしっかりと対応していくことが必要であり、ケアハウスという環境の範囲でできる限り対応できるように努めています。しかしながら、自立から要介護5の入居者が一つの施設に混在されている中で、個々の状態に応じた幅広いサービス提供が求められるため、入居者やご家族のニーズにどれだけ応えていけるかが今後も課題です。

課題に取り込むにあたり、あらためて職員が入居者の生活を支えているということの責任を自覚し、意欲向上につながるような環境作りに取り組み、更なるサービス向上に努めていきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ2類相当から5類感染症へ変更(2023年5月8日)されましたが、高齢者施設においては、当施設でもこれまでの基本的な感染対策を継続していきたいと思えます。

1. 安定した運営(居室定員の充足)

1人部屋52部屋、2人部屋14部屋に対して、退居者がでた場合には、できるだけ迅速に待機者の方々に入居して頂けるよう配慮し、空床を作らないよう努めました。今後も常に待機者がいる状態にし、急な退居者が出た場合でも対応できるようにいたします。

また、日ごろの入居者様との会話を通じて健康状態を把握し、管理してきました。身体状態によっては、介護保険の利用について説明、手続き等について情報提供させて頂きました。より個別に介護を受けられる環境を提供し、心身ともに健康な状態で施設生活を継続していただけるよう異常の早期発見・感染予防・情報の共有等職員全員で努め、安心して生活していただけるよう取り組むことが出来ました。

2. 職員の資質の向上・サービス提供力の向上

新型コロナウイルスの影響で、外部研修会及び講習会への参加は一時中止しておりましたが、2類から5類に引き下げられたことにより、コロナ禍前と同様、職員研修では外部講師を招き、また、オンライン研修や外部研修会への参加により、技術の習得と知識の向上が図れました。

各委員会活動では、具体的な目標の取り組みを行い、定期的な委員会開催にて評価・改善し、それらをまとめた事例報告や発表など、各委員会が主となって内部職員研修で周知し、職員全体のレベルアップを図り、委員会を通じて意欲と自己重要感、OJTの推進に努めました。

新型コロナウイルス感染状況に関しましては、施設で入居者様及び職員数名が感染、傷病による休職など、職員が欠員になる状況もありましたが、職種を超えた業務分担により、入居者の生活で大きな混乱を迎えることなく乗り越えられました。

引き続き感染対策には万全を尽くすと共に、職員一人一人が日々研鑽に励み、スキルアップを図り、ご入居者様に安心して利用していただき、満足していただける施設を目指していきます。

ICT活用により、職員の負荷低減と業務効率化、情報共有・連携がスムーズになり、職員の業務負担が軽減されるだけでなく、空いた時間で利用者とのコミュニケーションを図る機会が増えてきました。

3. サービスの充実と見直し

入居者のニーズを把握し、個別処遇の充実を図り、また、特定施設入居者生活介護の入居者に対しましては、特定施設サービス計画を充実させ、本人及び家族の意向を十分に取り入れるなど、入居者が自立した日常生活を営むことができるように支援しました。

趣味活動として、各種クラブ活動・行事の実施により入居者間の交流を図り、活気ある生活が送れるように努めました。2類から5に引き下げられたことにより、様々な活動が再開されておりますが、高齢者施設においては、同等までの緩和は厳しいものの新型コロナ前の活動へ徐々に回復している状況です。感染症予防対策を取り入れながら、ミニドライブ、敬老会、クリスマス会、制作活動や行事の様子をフェイスブックにて発信しました。

入居者が安心して生活ができるように各種生活相談の対応や家族へ入居者の日常生活及び身体状況の報告を行いました。今後も入居者様、ご家族様との信頼関係の構築に努めるとともに、入居者様の尊厳を保ち、健康で自立した生活を支援し、入居者様本位の適切で良質な高齢者サービスを提供していきます。

医療対策委員会の定期的な開催や職員研修を行い、入居者様の健康管理及び感染等の予防に努めました。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、「手洗い・アルコール消毒等の手指の衛生」「マスクの着用」「うがい」「検温・体調管理」等の基本的な感染対策を徹底しました。面会は、5類変更に伴い、コロナ禍前の通常面会ができるようになりました。

事故対策・身体的拘束等適正化委員会の定期的な開催と職員研修を行い、ヒヤリハット及び事故内容を把握し各入居者様の事故防止対応についても日々検討を行い、再発防止に努めました。また、身体的拘束のとらえ方としても、入居者様の自由を制限し、尊厳のある生活を阻むものと考え、入居者様にとって安心した「生活の場」の提供を第一に考え、身体拘束ゼロに向けた取り組みも行いました。

処遇委員会の定期的な開催と職員研修を行い、入居者様がより安全快適で活気ある生活ができるよう生活の質の向上に努めました。

4. 地域交流

2類から5類に引き下げられたことにより、お茶クラブ・慰問などの受け入れを再開、少しずつ通常の活動に戻ることができています。

5. 事務業務管理

各種規程、帳簿等についての整備を行い、利用料および介護報酬等の事務処理を正確に行ないました。また、補助金はいわき市へ滞りなく申請致しましたので、今後も不備のないように努めていきます。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、不足するマスクやアルコール消毒液、使い捨て手袋等の在庫管理並びに確保の取り組み、業務遂行に支障がでないように対応を行いました。

その他、消耗品備品等を有効に活用し、維持管理も行き、経費の節減に努めました。

6. 環境の修繕整備など

職員が常時、食堂・娯楽室・廊下等共有部分を感染症予防のため消毒を行いました。浴室は業者が定期的に清掃を行い、清潔を保つよう努めました。

施設設備の破損や異常については速やかに修繕を行いました。敷地内の舗装や施設内部の修復部分について、緊急性・重要性等を考慮し、適宜修繕し、安全な生活環境の整備に努めました。

令和5年度 ケアハウス日之出荘利用状況

<利用者>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度	差
月初在籍	68	69	69	69	71	70	70	70	70	69	69	69	-	-	
退去	0	1	0	0	2	1	0	0	3	1	1	0	9	11	
入居	1	1	0	2	1	1	0	0	2	1	1	3	13	6	
月末在籍	69	69	69	71	70	70	70	70	69	69	69	72	-	-	
一般 実人数(※)	40	42	41	42	41	42	40	42	40	40	39	41	490	496	▲ 6
特定 実人数(※)	29	27	28	29	29	28	30	28	29	29	30	31	347	350	▲ 3
支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	5	5	7	4	4	3	4	2	3	4	4	4	49	64	▲ 15
要介護2	5	6	5	8	8	8	10	10	10	10	11	11	102	79	23
要介護3	8	6	6	7	7	7	6	7	8	8	8	8	86	103	▲ 17
要介護4	5	5	5	4	4	4	4	5	5	5	5	5	56	47	9
要介護5	6	5	5	6	6	6	6	4	3	2	2	3	54	57	▲ 3
													25,443		
一般 延人数	1,267	1,295	1,247	1,276	1,343	1,271	1,220	1,228	1,276	1,237	1,164	1,097	14,921	15,990	▲ 1,069
特定 延人数	817	856	823	907	885	846	950	872	880	897	857	932	10,522	10,550	▲ 28
支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	150	155	180	114	116	90	113	62	93	99	116	124	1,412	2,008	▲ 596
要介護2	150	186	150	248	248	240	310	300	310	310	306	325	3,083	2,357	726
要介護3	240	205	210	217	209	216	217	210	227	248	232	235	2,666	3,094	▲ 428
要介護4	126	155	133	144	124	120	124	150	155	155	145	155	1,686	1,381	305
要介護5	151	155	150	184	188	180	186	150	95	85	58	93	1,675	1,710	▲ 35
入院・宿泊	54	31	49	13	8	30	11	28	4	20	29	15	292	339	▲ 47
1人部屋	50	51	51	49	51	51	51	51	50	49	49	49			
2人部屋	18	18	18	20	20	19	19	19	20	20	20	20			

※：実人数の合計数は、月初在籍・月末在籍のどちらか最大の数。

令和5年度 ケアハウス日之出荘内部研修実績表

実施日		参加者数	内 容
7月 14日(金)	18:00~19:30	15名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 処遇委員会 ◎活動報告 2. 事故対策・身体的拘束等適正化委員会 ◎ヒヤリハット・事故報告について ◎高齢者虐待防止について 3. 医療対策委員会 ◎感染症の基礎知識 ◎水分補給・処置について 4. その他
11月10日(金)	18:00~20:00	15名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 『接遇について』 ◎講師：福島県介護福祉士協会 鈴木 慎也様 2. 医療対策委員会 ◎脱水について ◎オンライン研修（感染症）についての報告 3. 処遇委員会 ◎活動内容報告 4. 事故対策・身体的拘束等適正化委員会 ◎ヒヤリハット・事故報告について ◎高齢者虐待防止について 5. その他
3月27日(水)	18:00~20:30	15名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別機能訓練実演について（作業療法士：水野先生） 2. 事故対策・身体的拘束等適正化委員会 ◎今年度反省，来年度計画 ◎ヒヤリハット・事故報告について ◎身体拘束廃止の基本方針について 3. 医療対策委員会 ◎今年度反省，来年度計画 ◎感染症研修会についての報告 ◎手洗いチェッカー実演 4. 処遇委員会 ◎今年度反省，来年度計画 5. その他

令和5年度 外部研修実績表（ケアハウス日之出荘）

実施日		参加者	内 容	会 場
09月13日（水）	12：50～15：00	菅野 千穂	令和5年度社会福祉施設看護等職員研修	オンライン研修
10月11日（金）	09：00～17：00	日下久良子 草野 勲	認知症介護基礎研修e-ランニング	オンライン研修
10月14日（土） ～16日（月）	09：00～16：00	関口 晴美	令和5年度社会福祉法人会計講座初級コース	中央福祉学院口ホス湘南
01月25日（木） 02月05日（月） 02月08日（木）	14：00～16：30	菅野 千穂	令和5年度高齢者・障害者福祉施設向け「感染症スキルアップ研修会」	いわき市総合保険福祉センター
03月02日（土）	10：00～17：00	松倉 奈保子	仕事楽しくなるチームづくり	いわき市労働福祉会館

令和5年度 ケアハウス日之出荘行事実績

実施日	行事名	内容	行先	参加人数
6月21日(水)	ミニドライブ	散歩。昼食と買い物。	ら・ら・ミュウ	17名
9月13日(水)	敬老会	平民謡会による和楽器演奏と歌の披露、入居者相互の親睦を図る。	集会室	42名
11月8日(水)	ミニドライブ	紅葉狩り。昼食と買い物。	小玉ダム・四倉道の駅	13名
11月22日(水)	避難訓練	火災を想定して避難訓練を実施。	施設内	24名
12月25日(月)	クリスマス会	昌平高フラダンス同好会のダンスを見学し、入居者相互の親睦を図る。	集会室	51名
12月28日(木)	大掃除	各階の窓拭きを実施。	施設内	14名
3月28日(木)	避難訓練	夜間を想定して避難訓練を実施。	施設内	16名

令和5年度 太陽の里いわき訪問介護事業所事業報告書

ご利用様が、ご自宅で自立した生活が送れるように支援をいたしました。

ご家族と協力し合い生活されている方、ご家族ご親戚とは疎遠になり一人で暮らしておられる方など生活状況は様々ですが、ご家族の負担も考慮にいれながら利用様が幸福に暮らせることを第一に考えサービスの提供をいたしました。

介護サービスに強い拒否があり、ご家族も利用をあきらめかけた方にも認知症の特性を踏まえた接し方で粘り強く対応しサービス提供を開始し、支援を続けることができました。

1. 利用者様の確保

令和4年度からは提供回数が30.3%ほど減少しました。(前年1月までの比較)職員の稼働率を上げられず、当初の目標に達することはできませんでした。

居宅支援事業所からの依頼はありましたが、職員の配置状況や時間帯等の調整ができず契約にいたらないケースもありました。

2. 職員の配置

パート職員(登録ヘルパー)の採用が計画通りに出来ず、令和5年度も構想していた配置ができませんでした。

3. プラン作成と実施

何をすれば拒否なく支援を開始できるか継続できるかなど考え計画、手順書を作成しております。利用様がもっておられる拘りなどに着目しながら策定されたケアプランを着実に実行できました。

家族、ケアマネージャー、病院、行政と連携して困難な事例にも対応することができました。

4. 衛生管理

清潔感を重視し、利用者様に不快感を持たれないように心掛けました。

新型コロナウイルス感染症の対策としては、前年度同様毎朝体温測定し報告してから出勤、マスク着用、手指アルコール消毒を行い、施設内での飲食は禁止とし互いに濃厚接触者にならないようにしました。

5. その他

登録ヘルパーの確保ができていないことや、ここ数年の事業の稼働状況などを精査し、今後、改善が見込めないことと判断し、事業は令和6年2月29日で休止とします。なお、次回の指定更新手続き時に事業再開するか、廃止にするかを決定いたします。

事業休止で利用者にご不便をかけないように、各居宅介護支援事業所に早期に案内し、今後の調整をしていただきました。

令和5年度 利用状況(太陽の里いわき訪問介護事業所)

〈実人数〉	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	昨年度	比較
要支援	4	4	5	6	5	5	4	4	1	1	-	-	39	37	2
要介護	24	22	22	22	22	22	21	18	13	5	-	-	191	240	-49
自費	2	2	2	3	2	3	3	2	2	0	-	-	21	21	0
計	30	28	29	31	29	30	28	24	16	6	-	-	251	298	-47
〈提供回数〉															
要支援	24	26	30	30	31	28	25	25	13	12	-	-	244	218	26
要介護	189	187	191	212	215	181	186	163	109	62	-	-	1,695	2,585	-890
自費	6	5	6	7	6	8	9	4	4	0	-	-	55	60	-5
計	219	218	227	249	252	217	220	192	126	74	-	-	1,994	2,863	-869

1/31提供終了

2/29事業休止

1. 基本方針

- 1)「敬愛、敬老、敬心」の理念の基に、質の高いサービスの提供に努め、利用者や家族に安心安全の提供に努めました。
- 2)常に介護保険法令を遵守しながら、職員配置による組織作りや更なる加算取得に努めることが出来ました。
- 3)医学的管理の下における看介護、機能訓練、食事、その他必要なケアを施設サービス計画に基づき自立した生活が営むことができるよう努めました。

2. 施設運営

- 1)施設管理医師との契約更新を滞りなく実施し、医療管理体制の継続、維持することが出来ました。
- 2)常勤医師1名をはじめ、適正な人員配置を行い、料金改定などの取り組みを職員の協力の下に実行できました。
- 3)働き方改革に伴い、有給休暇取得を推奨し職員全員5日以上取得しました。また、育児休業、子の看護休暇をそれぞれ3名の職員が取得しました。
- 4)基本報酬類型「加算型」を維持しつつ、3月には一段上位報酬の「在宅強化型」を取得できました。

3. 医療ニーズの対応強化への取り組み

- 1)医師、看護職、リハビリ専門職、相談員などを中心に、利用者や家族からの要望を協議検討し、通所者の在宅生活や入所者の在宅復帰が出来るよう、本来の介護老人保健施設の機能を果たすことが出来ました。

4. 返還金への対応

- 1)介護保険法2年間分
平成27年度に秋田銀行借入により、いわき市へ全額返還し完済しております。
- 2)民事法3年間分
5月に秋田銀行より283,000,000円の借入をしまして、同月にいわき市へ元利金含めた284,854,139円を返還し完済しました。
- 3)いわき市への返還に伴う秋田銀行への返済は令和14年度までの計画です。今年度の秋田銀行への元利金44,826,143円は計画通り返済しました。

5. 重点施策及び6.運営計画について

1-定員確保

- 1)関係機関への情報提供や訪問等の他に、施設名入りのカレンダーを450部製作し地域や関係機関、利用者や家族、職員へも配りサービスへの認知に努め新規獲得に努めました。
- 2)1月にコロナ感染が発症し落ち着くまで8週間を要し、34名の施設内療養者をケアしました。その間の新規入所の停止や通所リハにおいても同感染の影響を受け、ともに年度終盤には稼働率が低下する状況になりました。
- 3)ショートステイはコロナ感染発症防止のため、在宅復帰者のみの対応としました。

2-人員配置

- 1)医師をはじめ看護職、介護職、作業療法士、薬剤師、介護支援専門員など介護保険法上適正に配置しました。
- 2)非介護従事者の採用により、業務の分業が図られ介護業務の充実ができました。

3-非常災害時の対策

- 1)新型コロナウイルス感染防止に取り組みました。
- 2)火災想定総合訓練は10月と3月に実施し、土砂災害訓練・感染症勉強会及び訓練においても予定通りに行いました。
- 3)3月に消防署の立ち入り検査を受け指摘等はありませんでした。
- 4)避難ルールの整理整頓、非常食等の食材・器の備蓄を適正に行いました。

4-看護、介護業務

- 1)医師を中心とした医療的機能の高い看介護体制を維持出来ました。
- 2)利用者の療養目標を介護支援専門員と共有し、利用者や家族の意向に沿った看介護ケアが実践できました。
- 3)定期的に定例会や各委員会、検討会を行い、より良い看介護ケアのための改善が出来ました。
- 4)勉強会を通じて看介護の知識や技術向上に取り組むことが出来ました。
- 5)褥瘡防止委員会での活動成果により褥瘡者がいない月が出来ました。

5-リハビリテーション業務

- 1) 全人的な回復という本来の機能訓練の目的を果たすため、多職種と協同しながら質の向上に努めました。
- 2) 終末期においては残存機能を生かせる機能訓練に取り組みました。
- 3) 訪問リハビリに取り組み在宅生活での自立支援を行いました。

6-介護支援専門員(施設)業務

- 1) 個人のニーズに合わせたケアマネジメントを実施することが出来ました。
- 2) 医師をはじめ関係部署との連携など密に行い、最も有効な施設サービス計画を作成することが出来ました。
- 3) 適正な要介護度でサービス提供を行うにあたり、介護認定の区分変更を行い、9名の方が適切な施設サービス計画へと結びつきました。

7-支援相談員業務

- 1) 相談、要望、苦情など利用者や家族より発信されたことについて、ご意見箱や職員などより情報収集し当該者への救済に努めました。また、これら事例を分析し施設全体で情報共有し、工夫や改善に努めました。
- 2) 施設類型「加算型」の維持のため、入所前後訪問指導を始め、毎月の指標点数の確認作業を実施しました。

8-給食業務

- 1) 利用者の病状、栄養状態、心身状況及び嗜好を定期的に把握し計画的な食事を提供することが出来ました。
- 2) 栄養マネジメントや療養食の加算取得に努めました。
- 3) 衛生管理の徹底と保存食や非常食管理に努めました。
- 4) 献立内容の研究や改良により調理時間全般の改善に努めました。

9-事務業務

- 1) 介護報酬を精査し加算取得に向けて常に多職種と連携協議を行いました。
- 2) いわき市との連携により申請や請求等を適正に実行できました。
- 3) 預り金や小口現金の適正な運用と管理が出来ました。
- 4) 利用料金の引き落としのシステムを構築し、未納者への早期連絡による滞納がないように努めました。

10-職員研修業務

- 1) WEB研修と集合研修をコロナ発生状況を鑑みながら、また、感染対策を徹底しながら実施しました。
- 2) 職員の資格として主任介護支援専門員研修1名受講、介護支援専門員研修1名受講、リハビリ実技研修1名受講、介護支援専門員資格を1名取得しました。

11-渉外関係

- 1) 小川地区の保健福祉センターや地域包括支援センターとの連携により適切なサービスへの結び付けや取り組みが出来ました。
- 2) 協力病院との継続契約締結や地域医療機関との連携により安定した施設運営に取り組みました。

12-設備備品の改善

- 1) 重油ボイラーでの給湯や暖房を廃止し、給湯はガス、暖房はエアコンに切り換えることで、経費の削減と安定した供給に取り組みました。
- 2) 浄化槽内の亀裂を早期発見し補修することが出来ました。
- 3) 離設防止のため人感反応センサーを設置しました。

13-職員の健康管理

- 1) 職員への健康診断を職種に応じて適正回数実施しました。また、検査異常者には個別に注意や再検査を促しました。
- 2) 衛生委員会及びストレスチェックを実施し、産業医からのご指導やご意見をいただきました。
- 3) 施設内感染マニュアルを適宜更新し、職員への周知を徹底しつつ体調に違和感がある場合などは施設での抗原検査の実施や休むよう都度発信しました。

14-苦情や相談への対応

- 1) 利用者や家族からの苦情や相談等は、ご意見箱や職員などより情報収集しサービス向上委員会を通じて、取り組みや対応策を全職員が共有できるよう職場内へ回覧しました。
- 2) 虐待の芽チェックリストを定期的実施するなど虐待予防や危機意識向上を図り、テーマを設け、問題解決に努めてきました。

15-家族との交流

- 1) コロナ禍の中、夏祭りや敬老会などの来荘を促す行事は内容を変更し、施設内で感染予防を図りながら実行しました。
- 2) 新型コロナウイルス感染症対策のため、家族と対面面会できないので、来荘いただけ家族にはTV電話や窓越し面会を実施し、県外等の遠方の家族にはライン電話での面会にて交流を図ってもらうなど利用者と家族とのつながりの維持に努めました。また、HPのこまめな更新を行い施設の見える化に努めました。

16-地域との交流

- 1) 小川の公民館や支所で開催するオレンジカフェ(認知症カフェ)にコロナ感染状況をみながら7回参画し地域住民との交流を図りました。
- 2) 社会福祉協議会からの委嘱で小川地区協議会における福祉推進委員として職員を送り、3回の活動に参画し地域活動に取り組みました。

- 3) 市からの委嘱で小川地区中地域ケア会議委員として職員を送り、2回の活動に参画し、介護保険施設並びに専門職として地域活動に取り組みました。
- 4) 市からの依頼で、地域住民の健康寿命の延伸及び介護予防を目的として小川寺子屋活動へ作業療法士を送り、1回の活動を実施し地域貢献に取り組みました。

17-居宅介護支援事業所ふたつや(介護支援専門員)

- 1) 介護保険法令に沿って適正な事業運営を行いました。
- 2) 特定事業所加算(Ⅱ)やその他加算の請求や特定事業所集中減算適用外への資料の準備など適切に対応しました。
- 3) 主な担当地域を小川地区の周辺へ拡大し受け持ち件数の拡大に努めました。
- 4) 常に利用者の立場に立って公正中立にサービス提供へと結びつけました。
- 5) 社会資源の発掘や各サービス事業所との連携を図り、可能な限り居宅における自立生活、生活の質などが低下しないように努めました。

令和5年度 介護老人保健施設ニツ箭荘 各事業の実績状況

(単位:人)

令和5年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長期入所	入所者数	2,355	2,430	2,329	2,451	2,431	2,342	2,448	2,370	2,444	2,351	2,168	2,276	28,395
	1日平均	78.5	78.4	77.6	79.1	78.4	78.1	79.0	79.0	78.8	75.8	74.8	73.4	77.6
	新規入所者数	3	3	2	2	0	1	3	2	2	2	3	6	29
	退所者数	4	3	2	0	2	2	3	1	4	4	6	3	34
	稼働率	98.1%	98.0%	97.0%	98.8%	98.0%	97.6%	98.7%	98.8%	98.5%	94.8%	93.4%	91.8%	97.0%

※利用枠80名

※前年度平均稼働率 94.4%

短期入所	利用者数	20	12	0	0	16	30	7	15	16	12	0	0	128
	1日平均	0.7	0.4	0.0	0.0	0.5	1.0	0.2	0.5	0.5	0.4	0.0	0.0	0.3
	稼働率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※利用枠は在宅復帰者のみ受入れ(空床利用)

通所リハビリ	利用者数	380	405	464	425	411	385	434	423	405	357	360	362	4,811
	1日平均	19.0	20.3	21.1	21.3	20.6	19.3	20.7	21.2	20.3	18.8	18.9	18.1	19.9
	稼働率	70.4%	75.0%	78.1%	78.7%	76.1%	71.3%	76.5%	78.3%	75.0%	69.6%	70.2%	67.0%	73.9%

※利用枠27名

※前年度平均稼働率 73.6%

ハピ問リ	利用者数	8	6	8	6	8	8	9	7	8	8	7	6	89
	利用回数	16	12	16	12	16	16	18	14	16	16	14	12	178

居宅介護支援	予防認定者数	26	25	24	24	28	26	24	24	22	22	23	22	290
	介護認定者数	116	115	123	117	123	122	136	131	145	124	130	123	1,505
	合計数	142	140	147	141	151	148	160	155	167	146	153	145	1,795
	1人の受持ち数	32.3	31.9	33.8	32.3	34.3	33.8	37.0	35.8	39.0	33.8	35.4	33.5	34.4

※ケアマネ4名体制

※前年度平均受持ち数 32.8名

令和5年度 介護老人保健施設ニツ箭荘 活動状況

月	日	区 分				内 容	人数
		レク・ 行事	研修・ 出張	修繕等 10万円超	施設・ ボラ等		
4	6				○	オレンジカフェ(小川公民館)	3名
	10	○				プランター菜園レク	5名
	17				○	OT実習生受け入れ(郡山健康科学専門学校 ~4/21)	1名
	27		○			感染症訓練(ガウンテクニック)	全員
	30		○			虐待防止・身体拘束廃止への内部研修	全員
5	15		○			リハビリテーション専門実技取得(~16日)	1名
	18	○				新緑のドライブレク	2名
	25				○	市社会福祉協議会小川地区協議会(小川地区第2層協議体)	1名
	29	○				行事食(パン献立)	全員
	31			○		特殊浴槽修理	-
6	1				○	オレンジカフェ(小川公民館)	2名
	8	○				ホットケーキレク(行事食)	全員
	12		○			社福法人経営者協議会	1名
	16		○			主任介護支援専門員研修	1名
	29	○				運動会レク(行事食)	全員
7	1		○			オンライン研修(介護技術など)	25名
	6	○				誕生会	全員
	6				○	オレンジカフェ(小川支所)	2名
	7	○				七夕祭りレク(行事食)	全員
	13	○				美容レク	3名
	20				○	小川・川前地区中地域ケア会議	2名
	28	○				行事食(土用の丑の日)	全員
	28		○			社福法人経営者協議会	1名

令和5年度 介護老人保健施設二ツ箭荘 活動状況

月	日	区 分				内 容	人数
		レク・ 行事	研修・ 出張	修繕等 10万円超	施設・ ボラ等		
	31			○		給湯設備改修工事	-
8	7		○			社福法人経営者協議会	1名
	17	○				夏の縁日・屋台レク	全員
	31	○				暑気払いレク(行事食 納涼会献立)	全員
9	4				○	OT実習生受け入れ(郡山健康科学専門学校 ~9/22)	1名
	7				○	オレンジカフェ(小川支所)	2名
	14	○				敬老会(行事食)	全員
	19		○			虐待防止・身体拘束廃止への内部研修	全員
	26		○			介護支援専門員研修	1名
10	3		○			内部研修(危機管理、介護事故)	全員
	3				○	市社会福祉協議会小川地区協議会(小川地区第2層協議体)	1名
	5				○	オレンジカフェ(小川支所)	2名
	5				○	百寿祝い(行事食 お祝い膳)	1名
	13	○				看取り指針への勉強会	全員
	15	○				ドライブレク(フラワーセンター)	3名
	26				○	総合避難訓練(昼間火災想定)	全員
	26		○			防犯講習会(老健会主催)	3名
31			○		地下タンク廃止工事	-	
	2	○				誕生会	全員
	2				○	オレンジカフェ(小川支所)	3名
	6				○	郵便年賀寄附金事業の贈呈式	-
	7		○			内部研修(リスクマネジメントについて)	全員
	8				○	小川地区寺子屋活動(テーマ:自分らしい幸せな暮らしについて)	1名

令和5年度 介護老人保健施設ニツ箭荘 活動状況

月	日	区 分				内 容	人数
		レク・ 行事	研修・ 出張	修繕等 10万円超	施設・ ボラ等		
11	9				○	福島県議会議員一般選挙(期日前投票)	24名
	16	○				カップラーメンレク	希望者
	16				○	土砂災害避難訓練	全員
	16		○			オムツの知識と技術習得	全員
	17			○		療養棟天井カセットエアコン設置、居室エアコンの更新	-
	30		○			社福法人経営者協議会	1名
12	5		○			内部研修(医療事故の法定責任)	全員
	7				○	オレンジカフェ(小川支所)	2名
	15			○		浄化槽補修工事	-
	15		○			苦情解決責任者研修	1名
	21	○				クリスマス会・デコレーションケーキレク	全員
	22	○				行事食(冬至かぼちゃ)	全員
	25	○				行事食(クリスマス)	全員
	31	○				行事食(年越しそば)	全員
1	1	○				行事食(おせち盛り合わせ、お赤飯)	全員
	3	○				行事食(三日とろろ)	全員
	4	○				書初めレク	希望者
	5	○				行事食(七草粥)	全員
	11			○		居室エアコンの更新	-
	20		○			食事機能にアプローチする実技研修	2名
	21		○			介護対応研修会(認知症の人への口腔と食の支援)	3名
	29				○	看護師実習生受け入れ(医療創生大学 ~2/1)	2名
	30		○			社福会計実務者決算講習	1名

令和5年度 介護老人保健施設ニッ箭荘 活動状況

月	日	区 分				内 容	人数
		レク・ 行事	研修・ 出張	修繕等 10万円超	施設・ ボラ等		
2	3	○				豆まきレク	全員
	5				○	看護師実習生受け入れ(医療創生大学 ~2/8)	2名
	8		○			福祉介護人材定着支援事業(仕事が楽しくなるチームづくり)	2名
	28		○			地域保健関係職員等研修(献立作成の基本と実際)	1名
3	6				○	消防署の立ち入り検査	-
	14				○	市社会福祉協議会小川地区協議会(小川地区第2層協議体)	1名
	21				○	百寿祝い(行事食 お祝い膳)	1名
	28				○	総合避難訓練(夜間火災想定)	全員
	31			○		洗濯機修理	-
	31			○		食洗器修理	-
	31			○		非常誘導灯修理	-
合計件数		25	22	9	24		

※各活動においては新型コロナウイルス感染対策を実施しながら行っております。

令和5年度 児童養護施設いわき育英舎 事業報告書

基本方針

1. いじめや暴力のない生活
2. 素直な気持ちで生活
3. みんなで創る生活

『あらゆる暴力的行為の否定と一人ひとりが人権を尊重され、安心して暮らせる生活を根幹に据えて、自分を見つめる力、他者へのやさしさ、思いやりのこころを育む。そのような生活づくりを体験できる施設での家庭的な生活を目指す』

令和5年度は、基本方針を念頭におき、児童養護施設で暮らし、巣立っていく子どもたちが、よりよく生きることを保障できる施設を目指し、以下の点に努めた。

- (1) 子どもたち1人ひとりの課題分析をより具体化し、自立支援計画への反映、実践、評価を重ね日々の支援の充実を図った。
- (2) 「この子を受け止めて、育むために」を毎日読み合わせし、当たり前のことを繰り返し、積み重ね、生活力を高めるとともに、コミュニケーションの充実を図った。
- (3) 大震災を教訓に危機管理体制を強化し、あらゆる災害に対応できるよう備えを充実し、避難訓練をとおり子どもたちの安全に努めた。
- (4) 新型コロナウイルスの感染対策を地域の感染者数の状況に応じて、関係機関と連携し適宜、感染対策を実施した。また、入所児童が新型コロナウイルスに感染した際には、保健所、児童家庭課等、関係機関と連携し、施設内で感染者の療養を行い、健康観察、他の入所児童、職員への感染拡大の防止に努めた。

退所児童状況

【家庭復帰】 1名

【進 学】 1名

【その他】 2名

① 多機能事業 里親支援 浜通り圏内の登録里親への相談支援、週末里親との調整。

② 児童処遇

年少児——基本的生活習慣の確立及び遊びを通して心身両面の育成に取り組んだ。

幼稚園を活用しながら、集団生活への適応力の向上を図った。

小学生——基本的生活習慣に努めた。

グループ活動、行事等を通して、社会性や協調性そして自立性の高揚につながった。

小学校と適宜情報共有を行い、子どもたちの共通理解を深め、生活と学習の向上につながった。

中高生——基本的生活習慣の習得を図り、社会性、協調性及び自立意欲の向上に努めた。

部活と学業の両立が図れるように指導にあたった。

進路指導にあたっては、進路目標、意識の高揚を図りながら、学校及び関係者との連携を図った。

高校卒業後の進路については、学校との連携を図り、本人の意思を尊重しながら努めた。

就労を希望する児童へは退所後の生活を意識させた自立訓練を行った。

③ 健康衛生管理

健康診断を年2回実施した。身長と体重は、施設内で隔月実施した。

児童に検便を年2回実施し、感染症の予防に努めた。

毎日の健康観察により、疾病の早期発見と早期治療に努めた。

新型コロナウイルス対策の為、毎日の検温、共用部分の消毒、衛生教育を実施した。

国や自治体からの非常時等の対策の要請があった際には、児童、保護者へ説明、連絡を行い、外出、面会等の制限を行った。また、感染の疑いがあった児童への対応として、学校等関連機関と協議し、欠席させる等の対応を行った。

児童の新型コロナウイルスへの感染が判明した場合には嘱託医、保健所等と連携し、療養、感染防止、健康観察に勤めた。

④ 給食状況

より家庭的な雰囲気になるように、献立、食器、提供の仕方等を工夫した。

年齢やアレルギーに配慮しながら、栄養を考え供給した。

食事作り、配膳、食器洗い、米とぎや、盛り付け等子どもたちがお手伝いできることを増やした。

衛生的な食事環境作りに配慮し、正しい食習慣の確立に取り組んだ。

⑤ 地域交流の推進

地域や学校行事に積極的に参加協力を行った。

体育館を地域の団体等に貸出しを行った。

⑥ 苦情解決

子どもからの苦情、権利についての訴えに対し、関係機関と協力し権利教育を実施した。

⑦ 里親支援事業

浜通り圏内を児童相談所、里親会等と連携しながら、里親宅訪問、里親の新規開拓を行った。

⑧ 権利擁護

CAP ワークショップを児童、職員とそれぞれ受講し権利意識の向上に努めた。

⑨ 地域支援事業

いわき市と令和5年度からの子育て短期支援事業の業務受託契約を行い、ショートステイ・トワイライトステイ事業を行った。

⑩ 委員会活動

年3回の委員会活動を目標にしたが、職員配置、就業時間等の課題から目標を達成できなかった。次年度も継続する。

入所児の状況

	年度初	年度末	増減
幼児	3名	7名	4名
小1	0名	0名	0名
小2	1名	2名	1名
小3	2名	2名	0名
小4	1名	1名	0名
小5	2名	2名	0名
小6	3名	3名	0名
中1	2名	2名	0名
中2	1名	2名	1名
中3	5名	6名	1名
高1	3名	3名	0名
高2	3名	3名	0名
高3	1名	2名	1名
その他	2名	1名	△1名
合計	29名	36名	7名

職員数の状況

	定数	実数
施設長	1名	1名
副施設長	名	1名
指導員	5名	7名
保育士	5名	6名
個別対応職員	1名	1名
家庭支援相談員	1名	2名
里親支援専門相談員	名	1名
心理担当職員	名	1名
自立支援専門相談員	名	1名
看護師	名	1名
事務員	1名	1名
給食検査業務・事務補助	名	1名
栄養士	名	1名
調理員	4名	5名 (内非常勤1名)
嘱託医	1名	1名 (非常勤)
合計	19名	31名

行事実施報告

月	行事	場所
4月	グループ活動(お花見)	育英舎居室庭
7月	グループ活動(女子G)	商業施設
8月	グループ活動(男子G)	商業施設
	買い物学習	いわき駅前
	夏祭り	舎内園庭
9月	児童養護施設交流会	
10月	芋煮会	舎内園庭
12月	買い物学習	商業施設
	クリスマス会	育英舎地域交流ホール
3月	卒業旅行	日立かみね公園

支援者

月	行事	内容
7月	自立支援プログラム (メカサポート)	講座
8月	お金の使い方	講座
	動物ふれあい(動物訪問ボランティア)	交流
8月・1月	やきとり(くまさん)	交流
9月	同友会ふれあい祭り(同友会実行委員会)	参加
10月	鎌山祭(実行委員会)	参加
11月	七五三祝い(いわき市社会福祉協議会)	着付け・写真撮影・参拝

入所の状況

入所理由(主訴)	
養育困難	20名
虐待	16名
その他	2名
現在の家族構成	
父子家庭	2名
母子家庭	28名
両親いる家庭	7名
両親いない家庭	1名
その他	0名

令和5年度 いわき育英舎 研修出張一覧

NO.	実施日	主催	用務(研修内容等)	場所	氏名
1	4月13日	職員研究会	令和5年度総会	郡山市総合福祉センター	大竹匡幸
2	4月21日～23日	東北ブロック児童養護施設協議会	役員会	アイーナ岩手	田久和志
3	4月27日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	パレスいわや	三浦思絵
4	5月11日	職員研究会	令和5年度各種行事委員会	郡山市総合福祉センター	大橋和央
5	5月18日	経営者協議会 青年部会	経営者協議会 青年部会 役員会	ビックパレット福島	田久和志
6	5月24日	児童福祉施設部会	令和5年度 全体会	福島県総合社会福祉センター	田久和志
7	5月24日	社会福祉協議会	保育士養成校との懇談会	福島県総合社会福祉センター	谷貝明美
8	5月25日	職員研究会	令和5年度調査広報委員会	郡山市総合福祉センター	渡辺睦美
9	5月26日	東北ブロック児童養護施設協議会	令和5年度 全体会	アイーナ岩手	田久和志
10	6月8日	平社会保険委員会	平社会保険委員会総会	椿山荘	菜花美早江
11	6月12日	経営者協議会 青年部会	経営者協議会 青年部会 全体会	会津アピオ	田久和志
12	6月13日～15日	東北ブロック児童養護施設協議会	令和5年度 第70回記念大会	メトロポリタン秋田	田久和志他3名
13	6月14日	福島県社会福祉協議会	第1回心理職員等研修会	福島県青少年会館	白土希
14	6月16日	福島県公安委員会	安全運転管理者講習会	新舞子ハイツ	面川豊彦
15	6月19日	福島愛育園	里親情報交換会	県中児童相談所 他	谷貝明美
16	6月19日	日本年金機構	令和5年度算定基礎届事務講習会	スパリゾートハワイアンズ	菜花美早江
17	6月20日	児童福祉施設部会	児童養護施設長意見交換会	ビックパレット福島	田久和志
18	7月11日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	中央台公民館	三浦思絵
19	7月11日	福島県こども未来局児童家庭課	児童福祉施設連絡協議会	県中児童相談所	大竹匡幸
20	7月21日	経営者協議会	経営者協議会 経営セミナー	ビックパレット福島	田久和志
21	7月28日	東北ブロック児童養護施設協議会	経営青少年セミナー	ガーデンシティ仙台	田久和志
22	8月17日	社会福祉協議会	事務職員研修会	青葉学園	菜花美早江
23	8月24日～25日	社会福祉協議会	初任者研修	福島県総合社会福祉センター	吉澤菜々子
24	9月1日	福島県こども未来局	令和5年度基幹の職員研修	県中児童相談所	渡辺睦美他1名
25	9月7日～8日	福島県社会福祉協議会	初任者研修	福島県総合社会福祉センター	伊藤悠汰
26	9月11日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	中央台公民館	三浦思絵

令和5年度 いわき育英舎 研修出張一覧

NO.	実施日	主催	用務(研修内容等)	場所	氏名
27	9月14日～15日	社会福祉協議会	初任者研修	福島県総合社会福祉センター	鈴木華那子
28	9月15日	福島県こども未来局	令和5年度基幹的職員研修	県中児童相談所	渡辺睦美他1名
29	9月20～21日	社会福祉協議会	初任者研修	福島県総合社会福祉センター	鈴木梨々歌他1名
30	9月27日	東北ブロック児童養護施設協議会	役員会	アイーナ岩手	田久和志
31	9月28日～29日	東北ブロック児童養護施設協議会	専門職員研修	仙台ガーデンパレス	渡辺睦美他2名
32	9月28日～29日	福島県社会福祉協議会	初任者研修	福島県総合社会福祉センター	市原若奈
33	10月2日	同胞大学教授	ケアリーバー 意見交換会	福島学院大学駅前キャンパス	安部友彦
34	10月5日～6日	東北ブロック経営者協議会	セミナー福島	福島グリーンパレス	田久和志
35	10月10日	健康を考える会	看護師研究会	白河学園	猪狩千春
36	10月17日	経営者協議会	役員会	ガーデンシティ仙台	田久和志
37	10月18日～19日	職員研究会	第2回職員研修会	会津児童園	菜花美咲
38	10月19日	中央児童相談所	里親入門講座	伊達中央交流館	谷貝明美
39	10月22日～23日	全国社会福祉協議会	ファミリーソーシャル研修会	中央福祉学院	谷貝明美他1名
40	10月23日	同胞大学、福島大学	リービングを考える会	福島学院大学駅前キャンパス	安部友彦
41	10月24日	中央児童相談所	里親入門講座	福島市市民公民館	谷貝明美
42	10月25日～27日	全国社会法人経営青年会	全国大会	ホテルグランヴィア広島	田久和志
43	10月26日	福島県社会協議会	第2回心理職員等研修会	福島県青少年会館	白土希他1名
44	11月6日～8日	全国児童養護施設協議会	児童養護施設長研究協議会	神戸ポートピアホテル	田久和志
45	11月10日	会津児童相談所	里親トレーニング事業	会津児童園 他	谷貝明美
46	11月14日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	中央台公民館	三浦思絵
47	11月16日～17日	福島県社会福祉協議会	視察研修会	養徳園 他	安部友彦
48	11月23日	福島大学	シンポジウム発表	杉妻会館	安部友彦
49	11月23日	福島県社会福祉協議会	第2回調査広報委員会	郡山市労働福祉センター	渡辺睦美
50	11月30日	経営者協議会	経営者協議会 AI研修	ビックパレット福島	田久和志
51	12月1日	福島県社会福祉協議会	児童養護施設長意見交換会	福島県社会福祉協議会	田久和志
52	12月7日～8日	東北ブロック児童養護施設協議会	役員会	山形国際ホテル	田久和志

令和5年度 いわき育英舎 研修出張一覧

NO.	実施日	主催	用務（研修内容等）	場所	氏名
53	12月11日	中央児童相談所	里親応用研修	中央児童相談所	谷貝明美
54	12月11日	職員研究会	第3回職員研修会	白河市立図書館	夏井さつき
55	1月19日	中央児童相談所	児童相談所職員研修会	中央児童相談所	白土希
56	2月2日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	中央公民館	三浦思絵
57	2月7日～8日	経営者協議会	全国社会福祉法人経営セミナー	新霞が関ビル	田久和志
58	2月9日	浜児童相談所	第2回里親トレーニング事業	道の駅南相馬	谷貝明美
59	2月14日	福島県社会福祉協議会	第3回心理職員等研修会	福島県青少年会館	白土希他1名
60	2月15日	福島県社会福祉協議会	第2回各種行事委員会	郡山総合福祉センター	大橋和央
61	2月19日	福島県児童福祉施設部会	児童心理治療施設 視察	川崎こども心理ケアセンター	田久和志
62	2月19日	福島県こども未来局	第2回里親支援担当者会議	県中児童相談所	谷貝明美
63	2月21日	経営者協議会	経営者協議会総会・経営セミナー	ビックパレット福島	田久和志
64	2月26日	東北ブロック児童養護施設協議会	第4回役員会	アイーナ岩手	田久和志
65	2月27日	中央児童相談所	児童相談所職員専門性向上研修	県中児童相談所	猪狩千春
66	3月1日	日本福祉大学	里親養育包括支援機関 人材養成プログラム	日本橋三井ホール	谷貝明美
67	3月7日	福島県社会福祉協議会	令和5年度役員会	郡山総合福祉センター	大竹匡幸

令和5年度 法人本部事業報告書

1. 理事会開催状況

第1回 令和5年6月7日

報告事項 評議員選任・解任委員会報告

決議事項 令和4年度事業報告並びに計算書類等承認、令和4年度監事監査報告、理事・監事候補者推薦、定時評議員会招集

出席状況 理事6名 監事2名

第2回 令和5年6月23日

決議事項 理事長の選任、評議員選任・解任委員選定、いわき育英舎就業規則・給与規程一部改正

出席状況 理事6名 監事2名

第3回 令和5年10月3日

報告事項 業務管理体制

決議事項 理事長職務執行状況報告、監事による収支状況報告、太陽の里いわき就業規則一部改正、資金収支補正予算

出席状況 理事7名 監事2名

第4回 令和6年1月31日

決議事項 理事長職務執行状況報告、監事監査報告、資金収支補正予算

出席状況 理事6名 監事1名

第5回 令和6年3月27日

決議事項 令和5年度資金収支補正予算承認、評議員選任・解任委員後任の選任、令和6年度事業計画及び資金収支予算承認

出席状況 理事7名 監事2名

2. 評議員会開催状況

第1回 令和5年4月10日

決議事項 基本財産担保提供承認申請

出席状況 評議員8名 理事2名 監事2名

第2回 令和5年6月23日

報告事項 令和4年度事業報告

決議事項 令和4年度計算書類及び財産目録の承認、令和4年度監事監査報告、理事・監事の選任

出席状況 評議員7名 理事3名 監事2名

令和5年度 医療センター片寄診療所事業報告書

片寄診療所は、医師法、医療法及び介護保険法のもとで、業務内容の充実に努め、ひまわり荘・日之出荘の協力医療機関としての連携を図って参りました。

通所リハビリは、住み慣れた環境で安心して過ごして頂けるよう、利用者個々の心身状況、家屋状況等をしっかり確認しながら必要な支援の提供に努めました。定期的なリハビリテーション会議を行い、各関連事業所との連携を図りました。

今後も、皆様に安心してご利用して頂けるよう、サービスの質の向上を図り、新規利用者の獲得、利用率の向上に努めて参ります。

1. 活発な事業所の運営と安定した運営、改善に向けた取り組み

<医療部門・通所リハ共通>

- 1) 受診者、利用者増に繋がるように、パンフレット、おたよりの他、フェイスブックの内容を定期的に更新し、活動内容を分かりやすく発信しました。
- 2) 毎月、収支状況の分析、各職種の業務状況を運営会議にて確認、共有する事で、収入増やサービスの質の向上のために必要な取り組みを行う事が出来ました。
- 3) 検温、消毒等基本的な感染予防の取り組みを継続し、安心してご利用いただけるように努めました。

<医療部門>

- 1) 患者の症状に応じて検査を行い、入院が必要な時には、他医療機関への搬送がスムーズに進むように努めました。
- 2) 受診希望者については、しっかり受入れ対応しました。
- 3) 送迎希望者がいなく、送迎の実施はありませんでした。
- 4) 患者者1人1人に寄り添い、精神的不安の軽減に努めました。

<介護部門>

- 1) 介護ソフトを活用し情報の共有を図りました。
- 2) コロナウイルス感染に配慮しながら、居宅介護支援事業所を訪問し、事業所の特色をまとめた冊子やチラシを用いて宣伝活動を行いました。

リハビリテーション会議にて来所された居宅介護支援事業所のケアマネジャーへ空き情報や行事状況等を伝え、新規利用者獲得を目指しました。また、空き情報は FAXにて各居宅介護支援事業所へ送付しました。

夏祭り、敬老会、クリスマス会等季節の行事や、制作活動、体操の様子をフェイスブックにて発信しました。

3) 個別リハビリ体制を整え、個々の心身の状況に応じたリハビリ提供に努めました。また、楽しみをもって通所して頂けるよう、季節行事やレクリエーションに変化を持たせ、夏祭り等新たな取り組みを行いました。季節の壁画作成、園芸活動、手芸活動の他、利用者の提案により写経など個人の趣味を取り入れた活動の提供を行いました。

ゴールデンウイーク、お盆、年末年始時には、利用者、居宅介護支援事業所へ文書にて振替利用についての案内を行い、振替利用増に努めました。

4) 入院や体調不良等で長期休みの利用者については、定期的に状況確認すると共に、担当ケアマネジャーと情報共有し、不安なく通所が再開出来るよう努めました。

5) 感染予防対策を講じ、体験利用や見学希望の受け入れを行い、活動内容等を丁寧に説明し、利用に繋がるように努めました。事業所の内容が分かりやすく伝わる様、動画を活用しました。

2. 提供サービスや業務内容の充実に向けた取り組み

<医療部門・通所リハ共通>

- 1) 外部研修への参加、内部研修の実施にて、職員のスキルアップを図りました。
- 2) 職員間での情報共有を図り、より良いサービスの提供に繋がりました。
- 3) 職場での発見や気づきがあった際には、申し送り時に取り上げ意見交換を行い、提案のしやすい環境作りに努めました。
- 4) 作業療法士3名体制となり、全利用者対象にリハビリマネジメント加算算定を行うようになりました。

<医療部門>

- 1) 健康たよりを春夏秋冬に合わせて発行し、患者の疾病予防に努めました。
- 2) 健康診断を行う事により、疾病の早期発見、早期治療へと繋げることが出来ました。

<介護部門>

- 1) 介護ソフトを活用し、書類の整備を行いました。
- 2) 適宜業務の見直しを行い、業務が円滑に行えるよう努めました。
- 3) カンファレンス、申し送り、介護ソフト等を活用し、職員間での情報の共有を図り、個々のニーズに合ったサービスの提供を行いました。
- 4) 心身機能の維持、向上に繋がるよう、上肢、下肢を使うゲームや頭脳ゲーム等を組み合わせたレクリエーションを提供しました。季節を感じて頂けるようなレクリエーションゲームや制作活動に努め、活動についてはフェイスブックで発信を行いました。制作物はホールや廊下等に展示し、達成感を感じて頂けるようにしました。また、作成した季節の壁画は1年を通し展示し、季節の流れを感じられるようにしました。運動を頑張った方や休まず通所された方を対象に表彰を行い、目標を持って通所出来るようにしました。
- 5) 検温、体調確認、マスクの着用、手指の消毒、定期的な換気等の基本的な感染予防対策の継続、テーブル、イス、トイレ、浴室、歩行器、手すり等の事業所内の消毒も毎日行い、利用者が安心して過ごせるように努めました。
- 6) 利用者、ご家族とのコミュニケーションを積極的に図り、生活状況の把握を行い、個々のニーズに合ったサービス提供を行いました。新規ご利用者様については、不安なく過ごしていただけるよう声掛けを多く行い、ご家族に対してはご利用時の様子を細やかに伝え、信頼関係を築けるように努めました。
- 7) 5月、8月に昌平高校フラダンス部のボランティア受け入れ、11月から1月に掛けて昌平高校の初任者研修実習生13名の受け入れを行いました。コロナウイルス感染予防対策をしっかりと行い実施しました。
- 8) 定期的に研修会を開催、必要な知識の修得、技術の向上に努めました。外部研修会へ積極的に参加しました。

令和5年度 片寄診療所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度	差
診療															
医科	375	351	323	337	368	327	351	378	424	369	344	325	4,272	4,564	▲ 292
歯科	26	27	39	20	37	20	29	30	10	24	36	26	324	404	▲ 80
計	401	378	362	357	405	347	380	408	434	393	380	351	4,596	4,968	▲ 372
デイケア															
支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	▲ 58
支援2	55	58	60	58	61	55	61	49	50	47	49	36	639	568	71
要介護1	304	277	310	278	260	275	267	251	254	219	231	220	3,146	3,405	▲ 259
要介護2	266	252	266	264	274	284	304	273	291	275	298	316	3,363	2,840	523
要介護3	221	228	247	213	224	203	227	233	247	176	189	191	2,599	2,229	370
要介護4	60	68	72	62	73	78	77	79	80	57	52	67	825	770	55
要介護5	47	44	46	36	35	24	32	31	31	28	27	14	395	258	137
計	953	927	1,001	911	927	919	968	916	953	802	846	844	10,967	10,128	839
合計	1,354	1,305	1,363	1,268	1,332	1,266	1,348	1,324	1,387	1,195	1,226	1,195	15,563	15,096	467
平均数(注1)	47.6	46.3	45.5	45.5	46.3	45.9	46.1	45.8	45.3	44.5	44.5	42.4	45.5	42.2	3.3
利用率(%)	95.3%	92.7%	91.0%	91.1%	92.6%	91.9%	92.2%	91.6%	90.8%	89.1%	89.1%	84.9%	91.0%	84.4%	6.6%
(注2)															
特養(注3)	200	173	146	159	181	152	165	179	209	184	158	144	2,050	2,145	▲ 95
ケア(注4)	79	92	91	96	99	85	95	96	121	121	101	90	1,166	1,186	▲ 20

注1：デイケアの一日当たり利用者数。 注2：デイケアの利用率。 注3：特養入所者の診療所利用数。 注4：ケアハウス入所者の診療所利用数

令和5年度 片寄診療所通所リハ行事実績

実施日	行事名	内 容	場 所
4月17日～21日	誕生会	4月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
5月10日	ボランティア	昌平高校フラダンス部によるフラダンス披露	大ホール
5月22日～26日	誕生会	5月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
6月19日～23日	誕生会	6月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
7月24日～28日	誕生会	7月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
7月31日～8月4日	夏まつり	射的ゲーム、トマトすくい、いわき踊り等を実施	大ホール
8月18日	ボランティア	昌平高校フラダンス部によるフラダンス披露	大ホール
8月21日～25日	誕生会	8月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
9月11日～15日	敬老会	年長者の方の表彰、記念撮影を実施	大ホール
9月25日～29日	誕生会	9月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
10月16日～20日	誕生会	10月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
11月13日～17日	誕生会	11月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
12月11日～15日	誕生会	12月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
12月18日～22日	クリスマス会	職員余興、きよしこの夜合唱、抽選会等を実施	大ホール
1月15日～19日	誕生会	1月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
2月5日～9日	節分	豆まきの歌合唱、豆まきゲーム等を実施	大ホール
2月13日～16日	誕生会	2月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
3月4日～8日	ひな祭りゲーム	うれしいひなまつり合唱、ひな祭りゲーム等を実施	大ホール
3月25日～29日	誕生会	3月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール

令和5年度 片寄診療所研修実績

外部研修

実施日	時間	参加人数	内容
4月20日	19:30~21:00	1名	運動の速読「胸の矢 脚の矢」 ZOOM配信 受講者：富永康広（作業療法士）
8月23日	9:30~12:00	1名	高齢者虐待防止研修（応用編） 場所：いわき市文化センター 受講者：皆川裕子（介護職員）
10月18日	9:00~16:50	2名	認知症介護基礎研修 場所：ユラックス熱海 受講者：大泉久美子（介護職員） 鈴木みゆき（介護職員）
12月8日	14:00~16:00	1名	地域リハビリテーション市町村体制整備推進研修会 場所：二本松男女共生センター 受講者：水野綾乃（作業療法士）
12月12日 ~1月23日	eラーニング	1名	介護プロフェッショナルキャリア段位制度 アセッサー講習 受講者：和田広美（介護職員）
1月24日	10:00~17:00	1名	令和5年度生産性向上支援訓練「中堅・ベテラン従業員の4つの役割と、後輩の指導の仕方」 場所：ポリテクセンター福島 受講者：小野由貴（介護職員）
3月2日	10:00~17:00	1名	令和5年度 福祉介護人材定着支援事業「他地域の事業所とともに考える仕事が楽しくなるチームづくり」 場所：いわき労働福祉会館 受講者：小野由貴（介護職員）
3月14日	9:30~16:30	1名	安全運転管理者等講習 オンライン講習 受講者：小野由貴（介護職員）

内部研修

実施日	時間	参加人数	内容
4月10日	16:45~17:00	11名	気象病対策について 担当:片寄厚子(看護師)
4月28日	17:00~18:00	11名	タオル体操について 担当:富永康広(作業療法士)
6月5日	16:45~17:00	11名	胃バテについて 担当:片寄厚子(看護師)
7月11日	16:45~17:00	11名	ノロウイルスについて 担当:片寄厚子(看護師)
8月4日	16:45~17:00	11名	入浴介助について 担当:和田広美(介護職員)
9月6日	16:45~17:00	11名	免疫力について 担当:片寄厚子(看護師)
10月20日	17:00~18:00	12名	虐待防止について 担当:皆川裕子(介護職員) 感染経路について 担当:片寄厚子(看護師)
11月10日	17:00~18:00	13名	目の不自由な方への支援方法 講師:福島県介護福祉士会 鈴木慎也氏
11月28日	17:00~18:00	11名	認知症介護基礎研修受講報告(BPSD・パーソンセンタードケア・不適切なケアについて) 担当:大泉久美子(介護職員) 鈴木みゆき(介護職員) 介護保険法について 担当:和田広美(介護職員)
12月27日	16:45~17:00	12名	咳を和らげる方法について 担当:片寄厚子(看護師)
1月11日	16:45~17:00	12名	入浴時における体調の変動について 担当:片寄厚子(看護師)
2月9日	17:00~17:45	13名	感染性胃腸炎について 担当:片寄厚子(看護師) 立ち上がりの方法について 担当:横田圭祐(作業療法士)